

池田町社会資本総合整備計画

町民説明会

池田町公民館 1月19日（日）午後7時～8時50分

司会 中山総務課長

開会 矢崎副委員長 第2回説明会を開会する。

勝山町長 新年早々だが、5年にわたる社会資本総合整備計画を国からの補助金4割をいただき、財政負担の軽減もふくめ、計画的にこの事業を導入することで地域の活力を生み出すと同時に、地域のみなさんの長年の懸案を解決するため、策定委員会の尽力で2年審議をつづけてきた。町政も国の財政も厳しい。池田町の財政は私が引き継いだ時、実質公債費比率は18.6%だったが、9月の決算では7.8で高値の花であった松川村を追い越し大北では1位、長野県下でも20位。一步一步だが財政の健全化を図っている。積立金も10億から17億。安曇総合病院の再構築でもそれにふさわしい応分の負担をしていきたい。策定委員会で原案を最終的につくる一歩手前であるので、よろしく意見をいただきたい。

井口委員長 2回目の説明会。みなさんからの意見を次の策定委員会で検討する。

中山総務課長 策定委員、役場職員の紹介

井口委員長 前回の説明会で出された意見をもとに練り直したものを今日提出している。事務局から説明する。そのあと皆さんから質問意見をうける。

大沢係長 説明

平林教育長 説明

<質疑>

牛越 委員会に質問。策定委員会で原案策定となっているので、当然町民説明会やニュースレターに責任を負っている。ニュースレター6号4ページ。今日の資料に次のような説明がある。

「財政シミュレーションの結果町の財政に大きな影響がないことが確認されている」

委員会はどのような財政資料を確認してこのように結論づけたのか。

井口委員長 委員会では町からの資料、修正案等でだされた資料をそれぞれ検討、まとめなおした。(以下、委員長を省略し「井口」と記す)

牛越 財政資料をどのように確認して「影響がない」と結論づけたのか。

井口 これは町からの出た資料をもとにした。

牛越 資料の名前を。

井口 資料の名前？ 事務局・・・

牛越 いや、委員会として質問しているのだから委員長（に質問する）。

井口 出された資料については町からの財政資料・・・

牛越 それは何ですか。

井口 何ですかとは？

牛越 資料の名前を。何か資料があるからそれで委員会は「問題がない」と結論づけたのだろう。

井口 町の説明資料をもとに検討した。言いたいことは何か。

牛越 それは町民には開示しないわけですね。

井口 一般町民にはまだしていない。

牛越 なぜか。委員会としてなぜそうしないのか。

井口 委員会としてそういうことをすべきなのかね。委員会が案をつくるのではない、委員会は案を検討する場所なんですよ。案をつくるのは委員会じゃないです。あくまで委員会は出された案を検討する場所であって、委員会はそれだけの権限をもっていない。

牛越 原案を策定するのが委員会だと思うが。

井口 原案の策定は委員会ではない。委員会は出された案を審議する、検討する、それが仕事だ。

牛越 ニュースレターや今日の資料は委員会としてあまり関知していないということか。

井口 それを含めて検討してある。

牛越 影響がないと結論づけたその理由を聞いている。

井口 影響がない、よく言っている意味がわからない。

牛越 「大きな影響がないことを確認した」と書いていることについて、何をもってそのように結論づけたのかと聞いている。

井口 資料をもとに検討した結果です。

牛越 前の説明会の資料では実質公債費比率が8.5%となっている。新聞では会染保育園を建て替える方針を議員協議会が決めたと報道された。しかし、町が議会に示した資料では16.5%。策定委員会はこの財政シミュレーションを知っているのか。

井口 委員会としては保育園を含めた検討はそんなにしていない。

牛越 承知していないということですね。

井口 承知していないというか、質問している意味がよくわからない。

牛越 知らなければ委員会に直ちに資料を提出させてすみやかに討議をしてください。

井口 これは次回の委員会で検討するようになっています。

牛越 今はわからないということですね。

井口 今はわからない。言っていることの意味がよくわからない。私たちは資料を作っているのではない。出された資料をもとに検討しているだけだ。

牛越 状況が変わっていることに委員会は責任をもたなければいけない。次にいく。

第1回の町債にたよらない計画に、若い人の負担を減らすべきだ、会染保育園の建て替え、安曇病院の負担金、商業エリアなどを考えると財政シミュレーションは不十分ではないか、他の事業に影響がでるのではないか、優先順位の検討を行い優先度の高い事業からすすめるべきだ、などの財政の意見があった。委員会ではこの意見をどのように討議をしたのか。

井口 牛越さんは毎回委員会に出席されている。そのことは一番そのことはご存じだと思う。

牛越 傍聴者は全く発言できない。(説明会では) 町民からの財政について意見が沢山出されていた。委員会としてどういう討議をされたのかをお聞きする。

井口 出された案が可能かどうか、それが今後すすめていくうえでどのように考えたらいいか、あくまで委員会として出された資料を検討するというところでやってきた。

牛越 各委員も自由に発言してほしい。

井口 策定委員会でやるから、時間がない。

牛越 財政から見て基本的設計が崩れていると思う。町税を10億円近く使う。この計画を抜本的に見直すことをしていただけませんか。

井口 いままで13回の策定委員会で検討してきているので、条件は考えなければいけないがゼロにして見直していくことは時間的に無理がある。それはする予定はない。

牛越 全町民に対するアンケート、パブリックコメントをとるべきではないかという意見があるがどうかたえるか。

井口 どこを質問しているのか。

牛越 前回の委員会で配られた資料にある。

町長 パブリックコメント等については私が町長選挙でもマニフェストを出して勝たせていただいた。その意味で策定委員会を発足し、町民要望を踏まえ1年遅らせて新しく町民からの公募委員を含めて2年の経過を経た。1年遅らせたこと、幅広く町民から公募して策定委員会を再構築したことを踏まえて、終局になり委員会のみなさんの多数決で方向性をきめ、今日最終的に(ここで) 町民のみなさんの意見を聞いてさらに策定委員会で議論し

ていただく段階。3月の議会へ提出するという意味でもパブリックコメントはやらないつもり。

牛越 町長から回答をいただきたくはなかったが、ついでなので町長選挙のビラがある。ここに勝山プラン5というなかに教育の項目に「池田町公民館の改築、総合体育館の耐震改修を行います」たった1行ある。これは、改築ですから、今建っている場所に改築するというのが選挙公約であり、アップルランド跡地に交流センターをつくるのが公約ではなかったことを指摘しておきたい。

最後の質問。交流センターや道路に多くの意見が出されている。委員会の考えかたを見ても、町民の意見を聞いたとはどうしても感じられない。説明会を3回3カ所で行う予定だったが、本日で終わり。町民の意見はどうするのか。今日の意見はどうするのでしょうか。

井口 町民からの意見は次回の策定委員会で検討する。

町長 3回を2回にしたことについては、毎回同じ人の意見が非常に多いと言うことを踏まえて、そのような中で町民多数の声を反映できるかどうかについて疑問を感じたので3回を2回にしたので理解をいただきたい。

牛越 理解はできない。策定委員会は町民に丁寧に説明をし、大多数の町民の納得を得ることが必要。それまで時間をかけて策定することを要望する。

曽根原 毎回傍聴している。前回12月19日の資料には、道路2、道路3、緑地公園整備は事務局案への賛成は多いがその他については分かれている。それをトータルした数は事務局案より多い。財政シミュレーションを出して欲しい、建て替えになったらどうなるのか、安曇病院の負担金が反映されたものを出して欲しいと言ったが、委員会には出されていなかった。そのあと、議員協議会で会染保育園の建て替えの話があった。12月の策定委員会の時の話の内容とは財政シミュレーションが全く変わってしまっている。このとき(12月委員会)の総意では財政はなるべく抑えたものにしようということだったと記憶している。財政の基本になることが変わっているので、それに基づいて検討していただきたい。道路2だったら事務局案9、修正案7。財政が変われば考え方を考える人がいるかもしれない。道路3については、事務局案が7、それ以外9。なるべく合意できるものにし、財政を健全なものにするためにしっかり議論してほしい。

町民説明会ももう一回してほしい。

井口 財政について、なるべくお金がかからないようにしてという気持ちは策定委員会のみなさんもお持ちだと思う。いまお聞きしたことを含め次回の策定委員会で検討する。

町長 会染保育園の問題がでていますが、これについては（第 5 次）総合計画の中では「改築」と事業計画に載っているわけです。池田保育園の新築については南と北を統合するために効率よい財政運営のために統合し新築した。総合計画の位置づけでは耐震（診断）をして改築する方向。議会の皆さんは新築を望んでおられる。これについては総合計画に基づく計画とは違うので、現在は議長にゲタを預けたなかで今後の財政の健全化をふまえ再調整しなければならない問題だと思っている。現在はどのような段階。社会資本総合計画については 2 年にわたって検討していただいた。総合計画にもとづく内容については手順を踏んでいるので理解をいただきたい。今後は議会にも財政シミュレーションを出していきたい。

常原 この社会資本総合整備計画は町なかの再生の事業のひとつと理解している。この計画が町なかの再生にどう繋がるのか見えない。2 ページで、町なかの活性化に繋がると思われるのは活性化支援事業と街路灯と町なかサインを合わせても全体の 7%にしかならない。それにくらべて交流センター、図書館、体育館で 39%、道路が 24%とみると、道路と建物のための予算の割り振り。どう町なか再生とつながるのか。

もうひとつ。私の基本的立場は、もっと建物や道路ではなく生活の基盤を支える事業にもっと金を使ってほしい。それは、公共的なサービス部門への支出を増やしていただきたいということ。たとえば、介護や医療だとか保育などの町民の生活基盤を支える公共的なサービス事業はたくさんある。そのようなところで仕事しているみなさんが必ずしも十分な報酬がなく暮らしていけない、あるいは一家を構え世帯を育てていく十分な賃金を得られていないのが現状。十分な賃金を得られないということは「人々が去っていく」ということ。農業もそうだったし、小売業もそのような嵐に見舞われて商店がしまっていく。それはそこで十分な生活ができないからだ。公共サービス部門で働いている人がいなくなっていいのかという問題だ。何に重点的にお金を使うべきかということから全体計画を見直してほしい。

あれば便利じゃなくて、これを作って町の生活を支えていくんだということを全体の中で説明してほしい。地域交流センターがなくていいっているのではない。それも必要でしょう。しかし、それが全体の中で説明されないと補助金がでるからいいんだという乱暴な作り方ではなく、これがこの町の将来、生活の基盤をつくっていくのだということを考えてほしい。道路た建物をつくるのが公共的な町の生活を支える第 1 の時代も確かにあった。これからはそうなのか。いまここにいる人たちの暮らしを支えて担ってくれる人を育て、次世代もちゃんとここに住んでいただくことにお金を使うべきだ。

そういう点で、24%の道路が必要なのかということを検討していただきたい。公共施設エリアにいく道路は 1 本あればいいではないかという、それでいいかどうかは別として、極論としてはある。どうお金を使うか考えてほしい。

前回街路灯の話をしたが、それだけがとりあげられた。これは単なる例で、その街路灯のもとで暮らす人がいないところに街路灯が赤々とともってもしかたがないということを言いたかった。そのようにご理解を。

井口 ご意見として伺う。他に。

中山 この計画は非常にいい計画だと思う。策定委員のみなさんの審議の結果、当初の予定より約 6000 万円減額され、しかも町民の意見まで取り入れられた計画は絶対にいい計画で、是非駆け足で前へすすめてほしい。是非お願いしたい。

松澤 3点申し上げたい。

1点目は、すでにスケジュールが組まれて、今回で説明が終わって3月の議会とっているが、私は検討不十分、あるいは町も出すべき情報を十分開示しないで「財政上問題がない」といういい加減な回答をされている。16億円の計画のあとにこの10億円べつにかかりますよという案件が出てきた。財政上全く問題がないというそんなバカなシミュレーションを誰が信用するのか。すでに110億の借金があり、さらにそのうえに中身がまだ決まらない、とりあえず6億円の補助金が欲しいから建物を作るので申請するという話が通るのか。今は平成26年になって、建物先行の投資計画というのは公共団体としてはありえない。「みらい」がどうのという話があるが、彼らも血のにじむような事前検討をしソフトを開発して市民参加でもりあげてああなっている。町長は1年延期したとっているが、こんな検討何年してもすすまない。

さっきも「同じ人しか質問しないからパブリックコメントやらない」というが、同じ人の質問に誰も何も答えていないじゃないか。本当にできないこともあるだろうし、委員会の意見が正論ということもあるだろう。それはそれでかまわないが、意見を正面から受け止めてきちんと応えていない。財政がいい例だ。みなさんは財政の専門家だから比率で何パーセントだというが、110億の借金があり、16億の投資をし、その上に10億の追加出資が追っかけてくる。それを1万人を連帯保証人にしてさあいくぞなどという無謀な計画は誰が考えても無謀。さらに1年なり2年なりかけてじっくり検討して納得するまでやってほしい。全て反対と言っているわけではない。情報を小出しにして一方的にすすめれば大変なことになると申し上げたい。

2点目。このままいくと議会に議論がいくことになるが、町民の負託をうけた議員のみなさんに、乾坤一擲最大限の力を発揮して踏ん張って欲しい。いままでの議会とのやりとりをみると、委員会（の答申が）でかたらと常に先行されている議論が既定の事実のように通っている。たとえば、問責決議とか100条委員会とか立派なとりくみがされても、私個人とすればどうも結果は期待通りになっていない。議会の皆さんも、子ども達の将来にかかわる問題なので、町民の前に課題、問題点をあきらかにすることから議論をはじめてほ

しい。正々堂々いいものはいい、悪いものは悪い、そのように町民にあきらかにしてほしい。このままこの案を通すようなことがあれば、議員の責任もまぬがれないと思っている。重大な責任に期待したい。

3点目。この計画を中心にすすめているのは町長、副町長、教育長、総務課長などが責任者だと思うが、この計画が10年、15年先に「あのときの決定に問題があった」ということになったときに、退職金の返納なり個人の財産をもっても責任を明確にする覚悟がおりか。それほど自信をもって町民の前にこの計画を提案されているのか、その覚悟を聞きたい。

町長 民主主義のルールにそって私たちはやっている。まず、第1は私は選挙戦でマニフェストを出している。公民館を単独で作った場合は4割の補助がない。安曇総合病院へ行く道、再構築は長年の懸案だ。

総合体育館への道が南から通じていない、などの長年の懸案にたいする解決。また、町なかのみなさんが、アップルランド撤退を余儀なくされた。しかし、池田町はまだ魅力がある商圈だということで、一丁目の南の地籍に地権者全ての了解をえて再構築のための布石を打っている。もうじき発表になる。

町の中心街である旧大角屋醸造さんの土地が空白になることは町なかにとっても大きな損失であり、切り売りされても大変なことだと思う。公民館が老朽化することにもない、それを町民のとりでを再構築することは町民のとりでである。教育長が言うように、妊婦、幼児、お年寄りが今まで以上にとりでとして町民がコミュニケーションできるものは絶対必要。45年経って老朽化したものはすみやかに再構築しなければならない現状。これらをふまえ、前の町政からの大きな課題解決のため、自主財源も多少なりと増えてきているので、これを有効に使い課題解決が町民の負託にこたえることだと思っている。

策定委員のみなさんも2年にわたって議論し、多数決。反対意見はだいたい5人ぐらいだけです。そういう手順を踏んできたことについて、選挙で負けた人間にいろいろ言われても私は保証できない。私は4年間責任をもってやるので、町民のみなさんに今までの計画をふまえ責任をもってこの事業の遂行に前進する。あとは策定委員のみなさんがどのように原案をつくり、されに議会のみなさんがどのように判断されるかにかかっている。

佐野 策定委員のみなさん2年間ご苦労様でした。今回の事情は国の補助金を40%つかうことで、私が考えても大変池田町の未来にとっても財政にとっても貢献できる事業だと考えている。ぜひ迷わず前に進んでほしい。またこの事業は勝山町長の公約、マニフェストですから、公約を実行するのは当然のこと。ぜひ自信をもちスピード感をもって事業を推進してほしい。

薄井 財政問題が話題になっているが、議会の一般質問でも今後この計画にとともなう財政

について心配しており、いままで出されたものは安曇総合病院などは入っていないシミュレーションだった。12月議会で安曇病院、会染保育園の建て替えを含めたシミュレーションを出していただきたいと言った。その結果、12月24日に議会協議会に今後7年間をふくんだものが示された。それを見ると、安曇総合病院で5億円、会染保育園は改修か改築かで異なるが

約1.1～5億円、社総交で約4億円、消防防災デジタル無線で2億円、ほ場整備で2億円、商業施設1億円、住宅関係1億円、学校の補修で1.6億円、締めて新たに18億から22億円新規借入れの計画が出てきた。これまでの借金を加えると7年間で38億から41億円の借入れをするというシミュレーション。実質公債費比率は平成34年には14～16.5%になる。公債費の予算に占める額は現在5.9億円、それが平成32年には7億円から7.5億円と1.1～1.6億円増える計算になる。それだけ福祉などに使えるお金が減ることを意味する。財政状況が厳しくなると考えるのが普通。これから景気の悪化にともない町の税収も減少、交付税にたよる財源構造になっている。将来国の交付税もどうなる不透明。これまでは財政は確かによくなってきているが、これからの地域の新しい事業を考えた場合必ずしも財政にゆとりがあるという状況ではない。社総交をふくめ、必要性、緊急性のあるものを精査し優先順位をつけて財政に過度の負担をかけないようにすべき。社総交については、地域交流センター、図書館、それに付随する道路・駐車場整備などを行い、財政状況を考えてながら街路灯や町なか保存などを考えていってもいいのではないかと。

先日の多目的研修センターでの説明会では10年から20年返済にして実質公債費比率を12%程度に抑えるという説明があった。財政シミュレーションについても時期策定委員会に出して新たな財政状況を踏まえた論議を。

井口 私見だが議会と策定委員会が一体のものだと思っている。策定委員会で作られたものは議会でも十分議論していただきたいと考えている。

副町長 安曇病院は1月中に地元市町村としての補助金がきまる予定。5市町村+安曇野市、生坂村を含めた合意がなければきまらない。総体金額をまとめることになっている。当初5億円ということだったが、大町市、安曇野市の理由によって若干減額の方で検討。決まった総額に対する地元市町村の責任ということで50%補助をしていきたいと考えている。安曇病院へはこれで3回目。過去一番大きかったのは2億5千200万円、これを7年間で分割で補助。今度それよりオーバーになるがこれについても財政の健全化のため、10～15年分割でお願いしたいと考えている。

会染保育園は議会と練っているので、(議会と)調整をし、子どもの安全を一番に耐震改修だけはクリアするように進めていきたい。

1月中にある程度きまってくるので、再度財政シミュレーションをし、策定委員会へはさ

らにブラッシュアップして示す。会染保育園を建て替えることになれば、この間は10年というものだったが、20年なりにしたい。公債費比率の割合を11%くらいに抑えて運営していきたいと考えている。国では18%を超えるとイエローカード、25%を超えるとレッドガード。これらのものを入れても11%前後で運営していきたい。今月中に決まるので、要望通り策定委員会に資料を出して論議いただく。

中島 町長にお聞きしたい。前回町長選挙に出たときにマニフェストを出した。ここに新公民館建設とある。若者住宅、商店街の魅力作りとか病院再構築、ミニパーク構想とある。3年から5カ年、10~15億円の予定と大々的な見出しで出している。おとし、民意を問うて当選したわけだが、今聞いていると会染保育園は建て替えという話が出ているが、ここでは耐震改修ということになっている。誰が会染保育園画を建設するという話になったのか。町長がマニフェストで耐震改修としてあるが、町長が新設ということにしたのか。

町長 池田保育園は南北統合、効率、少子化含めて池田保育園にした。会染は耐震改修ということで、改修ということにしたが、池田保育園に比して不平等という意見の中で議員のみなさんの新築という方向がでた。総合計画、後期事業計画を踏まえて議長とも話し、調整する中で話をしていきたい。

財政シミュレーションについては、安曇病院は5億円を下回ると思うが、想定に入っている。安曇病院は想定に入っていないので、議会と再協議させていただきたい。

中島 今薄井議員から質問のことについて、町長はその気はないが議員さんから約5億の支出をせよと、議員がそう言ったわけで、それで財政負担が増えるという。自分で議員が増やしてそれで社総交はいけないとか比率が上がるとか、薄井議員にききたい。自分が（議員として）増やして、社総交の議論をしているときに、会染保育園は差別があるから新設しなさいと議会が出した。予算が増えるのは当然のことだ。それでシミュレーションが狂うとって、議会が狂わしているのではないか。違うかい。議会しっかりしろ。何考えているんだ。

薄井 議長が出席していれば議長からこたえるのだが、議会協議会で出された意見について、説明する。場所、地下水位が高く床の湿気、園庭の基礎部分の腐食がすすんでいるのではないかとされている。基礎がそうなら外装をいくらやっても安全性が保証されるかというのが第1。園児用のトイレの鏡の真ん中が自然に破裂。普通起こりえない。構造上の問題。そのほか、面積そのものがせまく遊戯室での卒園式などに父兄が入りきらない。ものがおけない。夏は暑く冬は寒い。空調。会染と池田は同じ時期に建設。会染は改修で安全性が担保されるか疑問があるし、町民サービスについて均等性を持たせる必要がある。保育園は園児が歩いて行ける場所にあるべきで、地域の核になる施設。避難所にもなって

いる。しっかりした安全性の担保できる施設にすべきだということ。

町長 議会でやるべきことなので、ここでは社総交の問題でお願いしたい。

井口 時間が経っているので閉じる。

矢崎副委員長 以上で閉会とする。